



研究用試薬

ヒストファイブ

第一抗体

抗Napsin Aモノクローナル抗体(IP64) (AT用)

(動物種：マウス)

包装： 50テスト(6.5mL)

Code： AT1825-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

- 本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。
- 特異性および抗原分布：ヒト Napsin A(単鎖タンパク質、38kDa)と特異的に反応する。Napsin はペプシン様アスパラギン酸プロテアーゼとして知られており、Napsin A と Napsin B が存在する。正常組織では、肺のⅡ型肺胞上皮細胞や肺胞マクロファージ、腎臓の尿細管で染色がみられる。発現量は少ないが脾臓でも染色がみられる。腫瘍組織では、肺の非小細胞癌である肺腺癌(91%⁽⁴⁾、85%⁽⁵⁾、84%⁽⁶⁾、83%⁽⁷⁾⁽⁸⁾)で高率に反応がみられ、低率ではあるが、大細胞癌(18%⁽⁵⁾、33%⁽⁸⁾)でも反応がみられる。また、腎細胞癌では、乳頭癌(79%⁽⁸⁾)、明細胞癌(34%⁽⁸⁾)に反応がみられる。肺の小細胞癌や、非小細胞癌である扁平上皮癌、カルチノイド、中皮腫では発現がみられない⁽⁴⁾⁽⁵⁾。Napsin A は肺原発腺癌における特異性が非常に高いことから、TTF-1(有用な肺癌のマーカー)とともに検出することは、肺原発腺癌を他臓器由来の転移性癌と区別し、肺腺癌の判別の信頼性を高めるうえで非常に有用である⁽⁹⁾。Napsin A は、細胞質に顆粒性パターンを染色を示す。
- クローン名：IP64
- 抗体のサブクラス：IgG2b
- 免疫原：Napsin A の一部、126 個のアミノ酸に相当するリコンビナントタンパク質
- 製法：培養上清から得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗 Napsin A モノクローナル抗体(IP64) (動物種：マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に 6.5mL を含む。

2. 使用目的

組織・細胞中のヒト NapsinA の染色。

3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
NapsinA-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	NapsinA-AT	20	25

- 参考：組織の固定状況等により、TR-pH9(AT用) (Code： AT1534-1)を用いた熱処理の温度(℃)を「103」(℃)に変更することで良好な染色が得られる場合がある。(裏面参照)

5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。
2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。
3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。
4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

7. 参考文献

- (1) Peter J. Tatnell, et al : FEBS Letters 441 : 43-48, 1998
- (2) Chuman Y., et al : FEBS Letters 462 : 129-134, 1999
- (3) Vesna Schauer-V., et al : FEBS Letters 462 : 135-139, 1999
- (4) T. Hirano, et al : Lung Cancer 41 : 155-162, 2003
- (5) T. Ueno, et al : British Journal of Cancer 88 : 1229-1233, 2003
- (6) A. Suzuki, et al : Pathology Research and Practice 201 : 579-586, 2005
- (7) A. Dejmek, et al : Diagn. Cytopathol. 35 : 193-197, 2007
- (8) Justin A. Bishop, et al : Human Pathology 41 : 20-25, 2010
- (9) Fatima N., et al : Cancer Cytopathol. Feb 1 on line DOI: 10.1002/cncy.20135 : 2011

■ 研究用としてのみ使用すること。

■ 参考 : TR-pH9(AT 用) (Code : AT1534-1)を用いた熱処理の温度(℃)を「103」(℃)に変更する場合(おもて面の■参考参照)、以下に設定してください。

《タイプ : HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
NapsinA-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	103	Buffer	NapsinA-AT	20	25